



候補地の近隣住民などを中心に118人が参加
(1月19日 豊科ふれあいホール)

一般廃棄物処分場

3カ所の候補地について意見交換

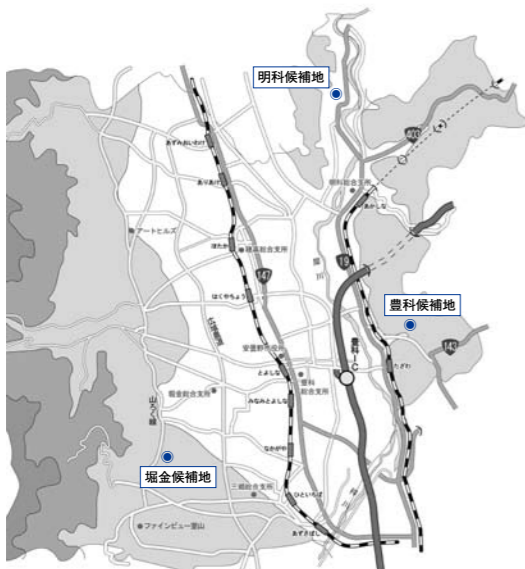
市と周辺5町村で組織する穂高広域施設組合の最終処分場検討委員会は、組合が計画する一般廃棄物の最終処分場の候補地を市内3カ所に絞り、昨年11月に一次候補地を公表しました。この候補地に関する住民意見交換会を1月19日と21日、市内2会場で開催しました。

計画されている施設は、住民が排出したもえるごみの焼却灰を主に処分する施設で、同組合では、昨年6月に学識・有識委員と公募委員15人で構成する最終処分場検討委員会を設置し、検討を重ねてきました。

選定作業は、生活環境、自然環境、災害・危険性に重点を置き、地域ごとの負担の公平性を配慮しながら、段階的に絞り込む作業が行われてきました。その結果、豊科田沢、明科南陸郷、堀金三田の3カ所が候補地として選定されました。(選定の経緯は穂高広域施設組合ホームページ <http://www.anc-tv.ne.jp/hotaka-c/> に掲載) 意見交換会には両日で211人が参加し、選定経過についての質問と意見、また、各候補地での環境面や災害・危険性についての意見などが出されました。

検討委員会では、今年3月までに最終候補地を選定し、提言書を提出する予定です。

候補地位置図(3カ所)



国保運営協議会

国民健康保険税の改正について答申



答申書を手渡す青柳和水会長(左)と二木茂光副会長(中央)

市国民健康保険運営協議会(青柳和水会長)は1月26日、国民健康保険税の賦課方法と国民健康保険事業の運営上の重要な事項についての答申を平林市長に手渡しました。

答申の内容は、保険給付費の増加を主な理由とする平成21年度国民健康保険税の改正についてと、平成21年度予算編成についてです。

この答申を踏まえた改正案は、3月定例会に提出されています。

救急救命活動

地域行事などにAEDを貸し出します

突然心臓や呼吸が止まってしまった人を心肺停止状態から蘇生させるための装置、AED(自動体外式除細動器)。市ではこの装置を公共施設など75カ所に設置し、救急救命活動に備えるための環境整備を進めています。

この備えをさらに広げるために、3月から市民が参加するスポーツ大会や各種イベントの主催者にAEDを貸し出す事業を始めます。貸し出しは、行事に心肺蘇生法などを学ぶ応急手当講習を受講した人がいることなどが条件で、書面の手続きが必要となります。詳しくは、各総合支所内の地域支援課にお問い合わせいただくか、市ホームページ(<http://www.city.azumino.nagano.jp/>)をご覧ください。

万が一の場合に備え、ぜひ制度をご活用ください。



市内の公共施設など75カ所に設置

【制度の概要】

- 対象 市民が参加する各種行事を主催するもの
- 貸出条件 行事に医療従事者またはその他の医療機関等が実施する応急手当講習(心肺蘇生法およびAEDの使用法を含む)を修了した者が常時配置されていること。
- 申込方法 必要書類(①AED貸出申込書、②資格免許証または講習修了証の写し)を各総合支所地域支援課に提出。

消防委員会

消防団の組織体制についての検討が始まる

消防委員会(宮下勝委員長)への諮問が1月30日、豊科総合支所で行われました。諮問内容は、消防団の再編成を検討することや、社会環境の変化に伴いサラリーマン団員が増加し、団員数自体も不足していることなどの対応策を求めるものです。宮下委員長は、「消防団がより円滑な組織となるように、十分な審議を行いたい」と述べました。同委員会は、本年8月に中間答申をまとめ、来年3月までには最終的な答申をまとめる予定です。



11人の委員に委嘱状を交付